

「大型低騒音風洞竣工30周年記念行事」を開催しました

2026年10月16日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、2026年10月15日に「大型低騒音風洞竣工30周年記念行事」を開催しましたので、お知らせします。

1. 大型低騒音風洞の歩み

大型低騒音風洞は、新幹線をはじめとする高速鉄道の空力音、空気力学的諸課題の研究開発を目的に、滋賀県米原市に設置されました。

この風洞は1992年に建設を決定し、1994年6月に着工、1996年6月に竣工しました。以来、世界トップクラスの低騒音性能と安定した稼働を維持し、高速鉄道の空力音や空気抵抗の低減、横風に対する列車走行の安全性の評価など、幅広い研究開発に活用されてきました。

現在でも、鉄道の高速化や環境性能の向上に関わる研究を進める上で、重要な基盤設備として活用されています。

2. 大型低騒音風洞竣工30周年記念行事

2026年10月15日、鉄道総研風洞技術センター（滋賀県米原市）において、「大型低騒音風洞竣工30周年記念行事」を開催し、記念植樹、設備見学および風洞デモ送風を行いました。

来賓として米原市長、JR各社、設備関連関係者など、18名にご出席いただきました。

記念行事では、鉄道総研芦谷理事長が「大型低騒音風洞は、30年にわたり鉄道の高速化や環境性能向上に貢献してきた。今後も、この風洞を活用した研究開発を進め、鉄道技術の発展に貢献するとともに、風洞実験に関わる技術・知見の継承や地域との連携にも取り組んでいきたい。」と挨拶しました（写真1）。

続いて、来賓を代表して米原市長角田航也様からご挨拶を頂き（写真2）、記念植樹（写真3）、風洞デモ送風を行いました。

今後も、鉄道総研は、大型低騒音風洞を研究開発の重要な基盤設備として活用し、鉄道の安全性や環境性能の向上など鉄道技術のさらなる発展に貢献してまいります。



写真 1 芦谷理事長の挨拶



写真 2 角田市長の挨拶



写真 3 記念植樹の様子

(報道機関問い合わせ先)

公益財団法人鉄道総合技術研究所 総務部 広報 TEL:042-573-7219

公益財団法人 鉄道総合技術研究所
〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-38